

## 8月定例記者会見 市長原稿要旨

はじめに「龍ヶ崎市市制施行70周年記念ロゴマーク」に関する情報提供です。

龍ヶ崎市では、来る<sup>きた</sup>令和6年3月20日に市制施行70周年を迎えます。

それを記念して、本市の魅力を市内外へ効果的にPRするため、5月から龍ヶ崎市市制施行70周年記念ロゴマークを募集し、一次審査、二次審査を経て、8月に最終審査を実施しました。

最終審査は電子投票で行いましたところ、市内外から、総数927票の投票がありました。たくさんのご投票に感謝申し上げます。

そして、投票の結果、全体の45%の得票数である、413票を獲得したデザインがロゴマークとして決定しました。龍ヶ崎市内に在住の肥後 真太郎(ひご しんたろう)さんの作品です。

肥後さんには、本日この場に同席いただいております。このあと表彰式を行う予定です。

なお、このロゴマークは、龍ヶ崎市市制施行70周年記念ロゴマークとして、各種制作物に幅広く活用する予定です。早速ですが、バックボードにも使用し、リニューアルしました。

次に「地域に出向いての生前整理に関する講演会」に関する情報提供です。

人口減少や少子高齢化などの背景もから、全国的に空き家が増加しており、その状況は本市においても例外ではありません。

空き家は原則として「その所有者が管理すること」とされていますが、さまざまな事情から適正に管理されない現状が多々見受けられます。その要因のひとつとして「相続の問題」があります。

相続協議が完了するまでの間は、管理責任があいまいになることや、協議が長期化することで建物の老朽が進み、利活用しづらくなることなどがあります。

そのような状況になる前に、整理を心掛けておくことが重要であるという観点から、今回、「生前整理講演会」を令和5年10月19日(木曜日)に長山コミュニティセンターで開催し、参加者の募集を9月25日(月曜日)から開始します。

当日は、生前整理アドバイザーの方から、市民の皆さまに、事前の身辺整理や不動産を含む財産整理等の重要性について講義していただきます。

こうした取り組みは、全国的にも今後必要な流れといえます。特に、龍ヶ崎市のよう到大規模ニュータウン開発を経た自治体にとっては、必要となるケースが同時期に重なるなど、喫緊<sup>きつじん</sup>に対応すべき課題ととらえております。

今後を見据えた先鞭<sup>せんべん</sup>の事例になれば、と期待を寄せています。